

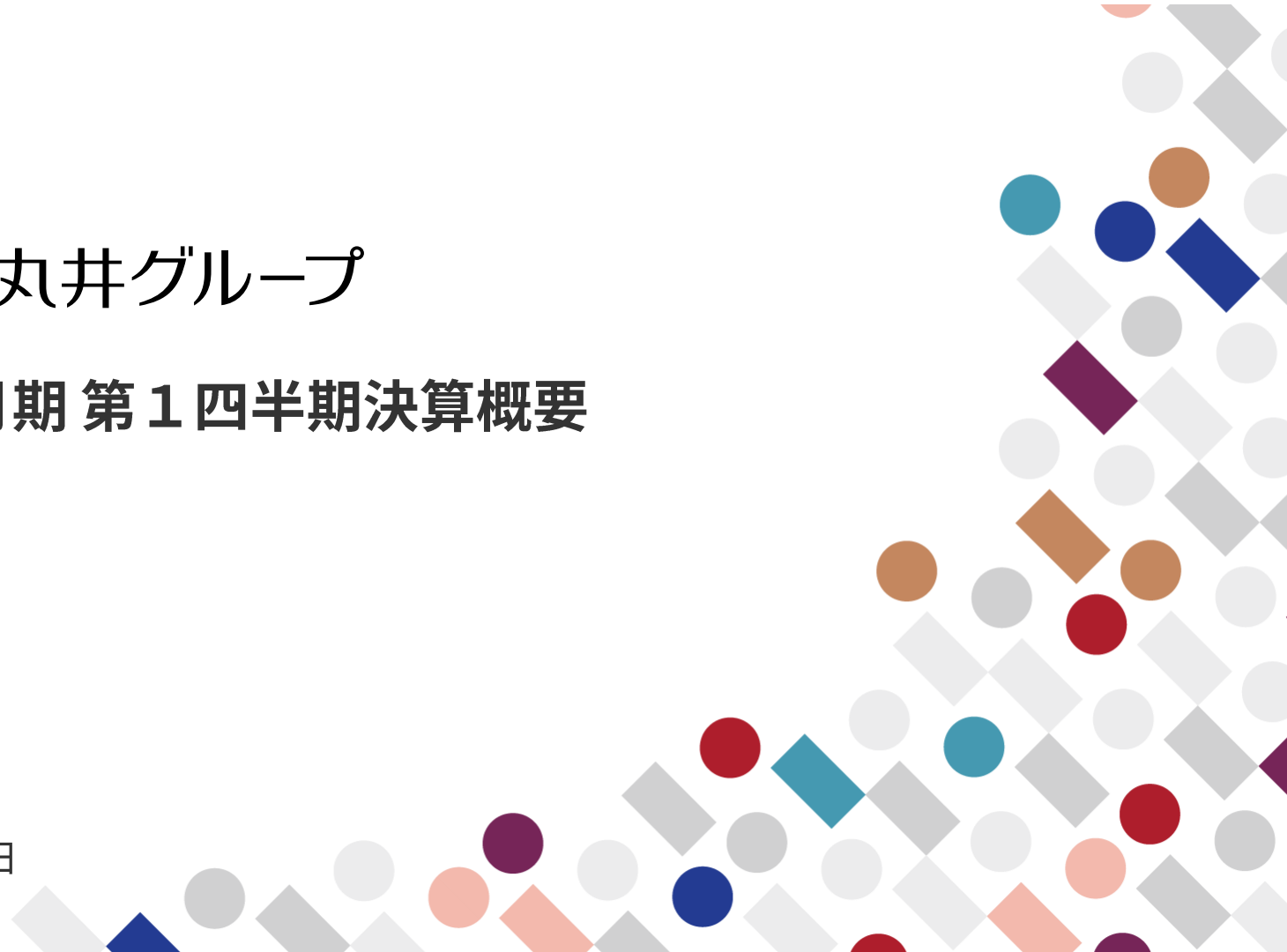
# 株式会社 丸井グループ

## 2022年3月期 第1四半期決算概要



MARUI GROUP

2021年8月5日



- ① 当期利益は+18億円の33億円、主要KPIのEPSは+8.3円の15.6円
- ② 前々年に対してEPSは39%減、コロナ前の水準を下回る
- ③ 連結営業利益は前年の固定費の特損振替の影響等もあり21%減の70億円、家賃減免や固定費特損振替等の特殊要因を除くと+3億円の92億円
- ④ 小売セグメント・フィンテックセグメント共に増収減益

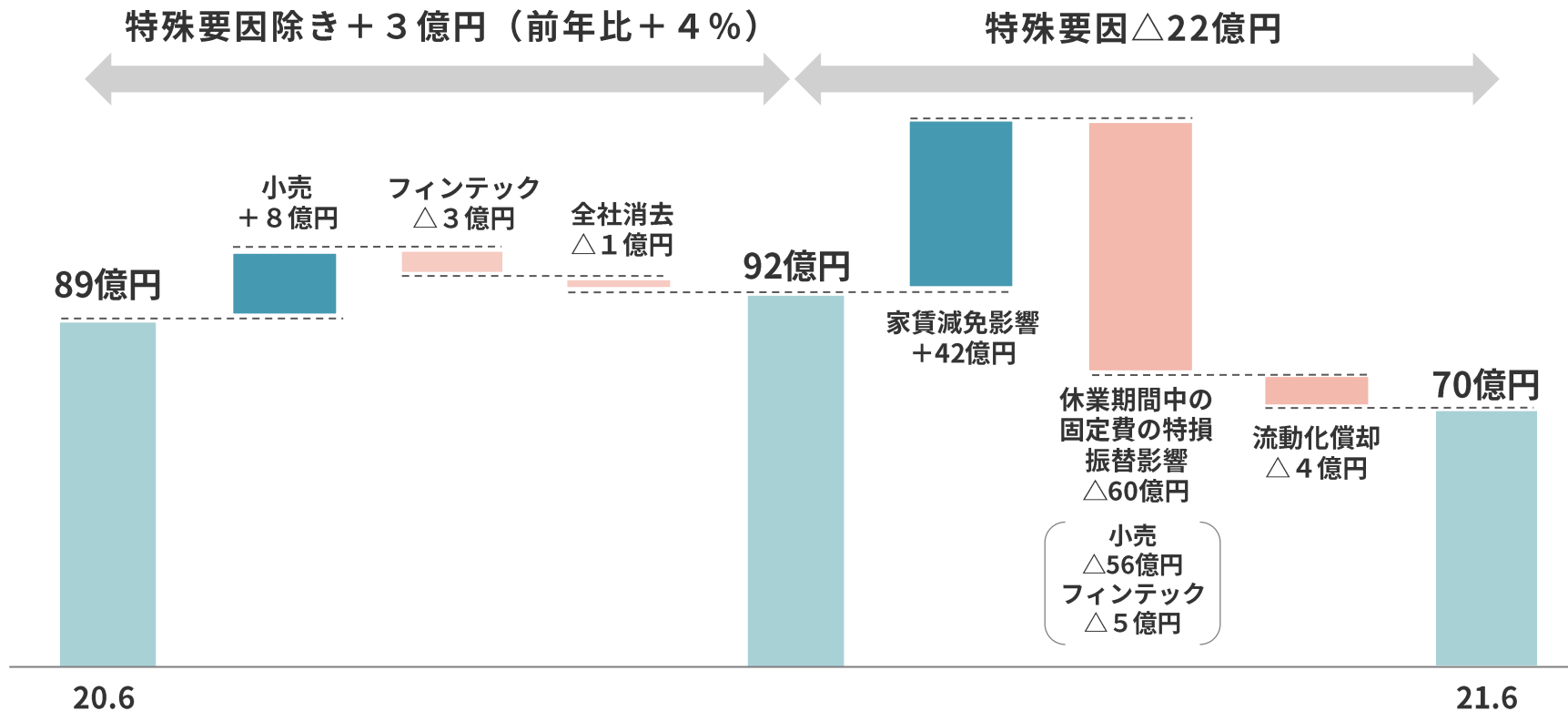
\* 今期より新収益認識基準を適用しております。詳しくは末尾の参考資料をご覧ください。

	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	前年比 (%)	前年差	前々年比
	億円	億円	%	億円	%
EPS (円)	7.3	15.6	214	+8.3	61
グループ総取扱高	6,153	7,847	128	+1,693	114
売上収益	427	486	114	+59	91
売上総利益	372	425	114	+53	93
〈リカーリングレベニュー〉	273	313	115	+40	98
販管費	283	355	126	+72	97
営業利益	89	70	79	△19	79
当期利益	16	33	213	+18	60

## 営業利益

	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	前年比	前年差
	億円	億円	%	億円
小売	8	2	25	△6
フィンテック	95	84	88	△11
全社・消去	△15	△16	—	△1
連結	89	70	79	△19

- 連結営業利益は特損振替影響を含む特殊要因を除くと、4%増の3億円増益



# フィンテックセグメントの状況

	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期		
			前年比	前年差
	万人	万人	%	万人
新規会員数*	10	12	127	+3
(丸井グループ店舗外入会)	(8)	(10)	(114)	(+1)
カード会員数	715	706	99	△9
プラチナ・ゴールド	256	276	108	+20
	億円	億円	%	億円
フィンテック取扱高	5,917	7,461	126	+1,544
ショッピング	4,599	5,809	126	+1,210
(外部加盟店)	(4,494)	(5,666)	(126)	(+1,172)
サービス	1,056	1,340	127	+284
カードキャッシング	241	290	120	+49
営業債権残高(流動化債権を含む)	7,179	7,352	102	+173
ショッピングリボ・分割払い	3,543	3,552	100	+9
カードキャッシング	1,425	1,305	92	△120
貸倒率(%)	0.47	0.48	—	+0.01

\* 前々年差  
△7万人

# バランスシートの状況

	21年3月末	21年6月末	増減
	億円	億円	億円
営業債権	5,447	5,520	+73
（債権流動化額：外書）	(1,822)	(1,832)	(+10)
〔流動化比率（%）＊1〕	[25.1]	[24.9]	[△0.2]
割賦売掛金	4,267	4,356	+89
営業貸付金	1,180	1,165	△16
固定資産	2,775	2,798	+23
投資有価証券	421	447	+25
有利子負債	4,846	5,045	+199
〔営業債権比（%）＊2〕	[89.0]	[91.4]	[+2.4]
自己資本	2,896	2,839	△57
〔自己資本比率（%）〕	[32.1]	[31.4]	[△0.7]
総資産	9,012	9,055	+43

＊1 流動化比率＝債権流動化額／（営業債権＋債権流動化額）

＊2 営業債権比＝有利子負債／営業債権

# キャッシュ・フローの状況

	21年3月期 第1四半期	22年3月期 第1四半期	前期差
	億円	億円	億円
営業キャッシュ・フロー	121	△40	△161
営業債権等の増減（△は増加）	126	△116	△242
<b>基礎営業キャッシュ・フロー*</b>	<b>△5</b>	<b>76</b>	<b>+81</b>
投資キャッシュ・フロー	△47	△48	△1
固定資産の取得	△22	△35	△13
投資有価証券の取得	△11	△19	△8
保証金返還他	△15	6	+20
財務キャッシュ・フロー	△118	67	+185
有利子負債の増減（△は減少）	△70	199	+269
配当金の支払	△47	△56	△9
自己株式の取得他	0	△76	△76
現金及び現金同等物の期末残高	365	391	+26

\* 基礎営業キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー - 営業債権等の増減



# 共創投資の状況

## ・ 2022年3月期 第1四半期 共創投資の状況

			21年3月期差
共創投資額	累計投資額	231億円	(+9億円)
	投資有価証券残高	447億円	(+25億円)
	含み益	143億円	(+8億円)
共創チーム	共創チーム	24チーム	(+4チーム)
	チーム人数	180人	(+53人)

- ・ 8月10日より、初のフラッグシップショップと提携カードの発行をスタート

## ■バルクオム初のフラッグシップショップ 「BULK HOMME THE STAND」



## ■「BULK HOMME エポスカード」デビュー



\*画像はイメージとなります

- GPIFがESG投資の運用にあたり採用した4つのESG指標すべてに採用時より選定
- 2021年3月期の再エネ使用率は52%、TCFDに基づく機会と物理的リスクを開示

## ■ GPIFが選ぶ4つのESG指標すべてに採用時より選定

2021 CONSTITUENT MSCIジャパン<sup>※1</sup>  
ESGセレクト・リーダーズ指数

2021 CONSTITUENT MSCI日本株<sup>※1</sup>  
女性活躍指数 (WIN)



FTSE Blossom  
Japan



## ■ 再生可能エネルギー100%に向けた取り組み

- 2018年よりRE100に加盟
- 2025年3月期70%、2030年3月期100%をめざす

# RE100

## ■ 気候変動への取り組み

- 2018年よりTCFDに賛同、2019年より有価証券報告書にて情報を開示

- ステークホルダー視点を活かす経営体制に向け、株主総会にて各分野の専門家が取締役就任、ガバナンス体制を進化



**中神 康議氏**

---

みさき投資株式会社  
代表取締役社長



**ピーターD.ピーダーセン氏**

---

NPO法人ネリス 代表理事  
大学院大学至善館 専任教授



**小島 玲子氏**

---

当社 執行役員 CWO  
ウェルネス推進部長

	21年3月期	22年3月期			
		21年3月期比	21年3月期差	20年3月期差	
EPS (円)	10.6	79.6	752	+69.0	△38.0
ROE (%)	0.8	5.9	—	+5.1	△2.9
ROIC (%)	1.4	3.2	—	+1.8	△0.5

< 参考 >

	兆 億円	兆 億円	%	億円	億円
グループ総取扱高	2 9,192	3 4,100	117	+4,908	+5,063
売上収益	2,062	2,120	103	+58	△356
売上総利益	1,773	1,850	104	+77	△107
販管費	1,621	1,485	92	△136	△52
営業利益	152	365	240	+213	△54
当期利益	23	165	728	+142	△89

### 営業利益

	21年3月期	22年3月期	21年3月期比	21年3月期差
	億円	億円	%	億円
小売	15	20	135	+5
フィンテック	202	410	203	+208
全社・消去	△65	△65	—	0
連結	152	365	240	+213

## <参考> 新収益認識基準の適用について

### ・2022年3月期より、売上の計上方法に関する新たな会計基準を適用

#### 1. 契約上の顧客や取引内容を整理し、荒利相当額を売上として計上


- ①委託仕入 (小売) …消化仕入と同様に売上を純額処理へ変更
- ②会員優待割引負担 (小売) …割引額は売上収益から控除
- ③ポイント運営収入 (フィンテック) …お取引先さま負担のポイント付与分は売上・費用計上しない

#### 2. 計上のタイミングを明確化し、契約が長期間にわたるものは経過期間に応じて売上を計上

- ④年会費収入 (フィンテック) …入会基準から期間按分の売上計上へ変更

#### <基準変更による影響額>

	2022年 第1四半期				年間見通し
	売上収益	売上原価	販管費	営業利益	売上収益
	億円	億円	億円	億円	億円
①委託仕入	△30	△30	—	—	△135
②会員優待割引負担	△1	—	△1	—	△4
③ポイント運営収入	△1	—	△1	—	△5
④年会費収入	0	—	—	0	△1
合計	△32	△30	△2	0	△145



本資料に掲載しております将来の予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。お問い合わせは、I R部 03-5343-0075にご連絡ください。